

子ども生きづらさに 寄り添う地域社会をつくる



日時：2017. **11/25** [土]
13:00~16:45 [12:30開場]

場所：ホルトホール大分 3F 大会議室
定員：先着300名 **入場無料**

基調講演

- 食料の支援を通してみえた「子どもの貧困」
認定NPO法人 フードバンク山梨 理事長 **米山けい子氏**

基調講演

- 子どもの生きづらさに寄り添うには
～子どもの秘められた力を信じて～
一般社団法人 こもれび 代表理事 **水流添 綾氏**

パネルディスカッション

- ▶ コーディネーター
● 大分大学 教育学部 准教授 **川田 菜穂子**
- ▶ パネリスト
● 認定NPO法人 フードバンク山梨 **米山 けい子氏**
● 一般社団法人 こもれび **水流添 綾氏**
● NPO法人 志塾フリースクール大分 **多々良 友美氏**
● 大分人権教育ワークショップ研究会 **足立 恵理氏**

対象者：福祉・学校・医療関係者、行政関係者、一般市民
ただし、事前申し込みが必要（11月22日まで）
定員に達していない場合は当日参加も可能
手話通訳、要約筆記あり

主催：大分大学福祉科学研究センター
後援：大分県 大分県教育委員会 大分県社会福祉協議会 大分県社会福祉士会
大分県精神保健福祉士協会 大分合同新聞社 NHK大分放送局
OBS大分放送 TOSテレビ大分 OAB大分朝日放送 エフエム大分
大分ケーブルテレコム

問合せ先/申込み先

大分大学 福祉科学研究センター
TEL/FAX: 097-554-7450
E-mail: fukusi@oita-u.ac.jp
大分市大字且野原 700 番地

要事前申込み

11月22日まで

昨今、「子どもの貧困」という用語が定着しつつあります。貧困に陥った世帯に限らず、虐待やいじめ、不登校など子どもが抱える生きづらさは多様になり、深刻さを増しているようにもみえます。こうした現実を変えるべく、さまざまな取り組みが日本各地で展開されています。

本フォーラムは子どもの生きづらさに寄り添っているの方々をお招きし、現在の子どもの状況や子どもを取り巻く環境を実態に即して理解するとともに、それを踏まえてどのような支援が求められているのかを、さまざまな側面から多角的に考えることを目指します。

子どもの生きづらさに寄り添う地域社会をつくる

基調講演者 プロフィール

認定NPO法人 フードバンク山梨 理事長 **米山けい子氏**

1953年7月、山梨県南アルプス市生まれ。元コープやまなし(現パルシステム山梨)理事長。2008年にコープやまなしを退職後、フードバンク山梨設立。2009年にNPO法人化し、理事長に就任。
2015年11月に全国フードバンク推進協議会の代表に就任。

一般社団法人 こもれび 代表理事 **水流添 綾氏**

一般企業、高齢者福祉を経て、2008年度よりスクールソーシャルワーカーとして活動。2013年12月法人を設立、代表を務める。その他大学非常勤講師など幅広く活動。
ベースは社会福祉士、精神保健福祉士。

プログラム

- 13:00 主催者挨拶
- 13:05 基調講演
食料の支援を通してみえた「子どもの貧困」
NPO法人 フードバンク山梨 理事長 米山けい子氏
- 14:05 休憩
- 14:10 基調講演
子どもの生きづらさに寄り添うには
～子どもの秘められた力を信じて～
一般社団法人 こもれび 代表理事 水流添 綾氏
- 15:10 休憩
- 15:25 パネルディスカッション
- 16:45 閉会
- 17:00 交流会(～18:30)
ホルトホール3F 303会議室(申し込みが必要です)

申し込み期限 11月22日〔水〕

FAXもしくはメールで申し込みをお願いします。
参加者が定員に至った場合は、期限前に申し込み受付を締め切ります。
定員に満たない場合は、当日参加も可能です。



E-mail : fukusi@oita-u.ac.jp

FAX申し込み記入欄 FAX : 097-554-7450

所属先				
氏名	(フリガナ)	交流会	参加	不参加
	お名前			
連絡先	電話番号	FAX		
	メールアドレス	@		

*お預かりしたお客様の情報は本フォーラム以外では使用いたしません。